

「学ぶ土台づくり」圏域別ワークショップの開催状況について

「学ぶ土台づくり」圏域別ワークショップについて

1 目的

「学ぶ土台づくり」推進計画に基づいて幼児教育の円滑な推進が図られるよう、主に**幼児教育の「現場」の関係者**が情報を共有し、相互理解を深めながら、「親子間の愛着形成の促進」、「基本的生活習慣の確立」、「豊かな体験活動による学びの促進」をテーマに課題の共有化を図り、解決すべき課題や連携の在り方を探るために開催する。

2 実施

平成24年度については、実施圏域を3圏域（大河原，仙台，北部）に絞って重点的に開催。

3 参加者

教育現場（幼稚園，保育所，小学校），家庭（幼児，小学校の保護者），地域社会（NPO，企業，子育てパートナー等），行政（市町村児童福祉・母子保健担当，市町村教育委員会幼児教育・家庭教育担当）の関係者

1 これまでの開催状況

(1) 仙台圏域 第1回

- ①日時：平成24年8月23日（木） 午後2時から午後4時まで
- ②会場：まほろばホール（大和町） 大会議室
- ③アドバイザー：坂内玲子氏（富谷町立富谷中学校長）
- ④参集範囲：黒川郡（3町1村）
- ⑤参加者：27名
- ⑥グループワークテーマ：「基本的生活習慣の確立について」
- ⑦主な内容

現状と課題

- ・親の子育てに対する意識が低下している。
- ・家庭環境によって基本的生活習慣の違いが出ている。
- ・親の生活リズムに引きずられ「早寝・早起き・朝ごはん」ができていない。

解決策

- ・三世代同居のよさや父親の協力の大切さを伝えていく。
- ・保護者向けの勉強会の実施や啓発。「ノーテレビ，ノーゲームデー」の実施。
- ・頑張っている父親や母親への励まし。
- ・親になる前の教育の実施。

アドバイザーからの指導助言

- ・親に何かを指導しようとする時，親の話を聴くこと，子どもができなかったことができるようになったことに対して親を褒めることが大切であり，親への小さな支援の積み重ねが日々の生活の中で大切。
- ・親の心に火を付けるアクションやしかけを皆で考えていくことが大事。



(2) 北部圏域 第1回

- ①日時：平成24年11月2日（金） 午後2時から午後4時30分まで
- ②会場：大崎合同庁舎 501会議室
- ③アドバイザー：越中康治氏（宮城教育大学講師）
- ④参集範囲：全圏域（1市4町）
- ⑤参加者：30名
- ⑥グループワークテーマ：「親子間の愛着形成の促進」
- ⑦主な内容

現状と課題

- ・子育てを楽しむためのコミュニケーションや触れ合う時間、情報などが欠如している。
- ・親子のかかわりの大切さが分からないでいる。
- ・母親にゆとりがない。
- ・親になる準備がないまま親になっている。



解決策

- ・父親や祖父母の育児参加を呼びかけ。
- ・小中高生から幼児と触れ合う機会を持たせる。参加型の研修会の開催。
- ・母親のリフレッシュする場の提供。育児サークルの展開。
- ・検診時による情報提供。親になる前の世代に対する教育の実施。

アドバイザーからの指導助言

- ・子どもを統制したり、親の気まぐれで関わったりすると、基本的な生活習慣が上手く定着せず、子どもの心を損なってしまうケースが多い。
- ・親も子もよくなりたいという思いがあるので、指示するのではなく、親にも子どもと同じように寄り添うサポートから始めることが大切。

2 今後の開催予定

(1) 仙台圏域 第2回

- ・日 時 平成24年12月11日（火） 午後2時から午後4時まで
- ・会 場 まほろばホール（大和町） 大会議室

(2) 北部圏域 第2回

- ・日 時 平成25年2月5日（火） 午後2時から午後4時30分まで
- ・会 場 大崎合同庁舎 501会議室

(3) 大河原圏域

参集範囲：全圏域（2市7町）

アドバイザー：佐々木とし子氏（宮城県地域活動連絡協議会長）

①行政担当者説明会

- ・日 時 平成24年12月14日（金） 午後2時から午後4時分まで
- ・会 場 大河原合同庁舎 第二会議室（別棟2階）
- ・参集範囲 各市町児童福祉担当者及び母子保健担当者
各市町教育委員会幼児教育担当者及び家庭教育担当者

②第1回ワークショップ

- ・日 時 平成25年2月上旬予定
- ・会 場 大河原合同庁舎